

23, 1937).

Prov. Kwangtung—Canton [廣東] (S. OKA, Feb., 1935, nos. 100 & 153).

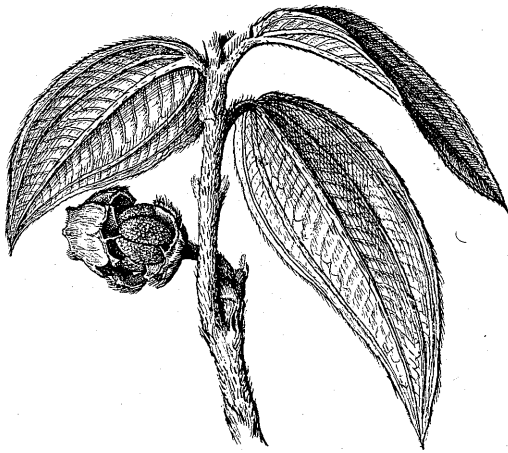
China, sine loco speciali (T. YENDO, 1904).

終リニ臨ミ、東大所藏ノ標本ヲ参照スル事ヲ許サレタ上、種々御指導下サツタ中井教授及ビ福建協和大學所藏ノ標本ヲ見セテ下ツタ謝循貫氏ニ厚ク感謝ノ意ヲ表スル。

(御江久夫 H. Migo)

○のぼたんノ果實ノ裂開法

のぼたん (*Melastoma septemnerium* LOUR. var. *Nobotan* [MAK.] MASAMUNE=*M. candidum* DON. var. *Nobotan* MAKINO) ハ屋久島以南、琉球・臺灣ニ分布スル灌木デ *Melastoma septemnerium* LOUR. (= *M. candidum* DON.) ニ似テ居ルガ、葉ハ一般ニ短ク基本種ノ葉脈ハ普通 7 本デアルガ、此變種ノ方ハ通例 5 脈デアル。分類上ノコトハトモカク、のぼたんハ臺灣ニハ極ク普通ナ物デアルガ、ソノ果實ノ裂開法ニ關シテハ、アマリ注意スル人ガナイヨウデアルカラ、此處ニソレヲ紹介スルコトニシタ。一般ニ *Melastoma* 屬ノ多クノ物デハ果實ノ上部カラ 5 裂シ、又他ノ物デハ不定ニ裂開スルト言ハレテキル。私ハのぼたん以外ノ此屬ノ植物ノ果實ノ裂開シテ居ル様子ヲ自然ノ狀態デ見タコトガナイノデ、不定ニ裂開スルト言フノハドレ程ノ程度ニ不定デアルノカ、又ドウ様ニ裂開スルノカ全ク知ラナイガ、のぼたんヲ見ルト此ノ果實ハ (圖參照) ソノホボ中央ノ横面ニ割目ガ出



來、ソコガ割レテロヲアケタヨウニ果實ガ圖ノ様ニ裂レテクル。私ハ *Melastoma* 屬ノ物ヲ多ク知ラナイカラ、此處ニ斷言スルコトガ出来ナイガ、コノ様ナ果實ノ裂開ヲスル物ト、上部ヨリ五裂スル物及裂開シナイ物トハ餘程ソノ性質ノ異ツタ物ト思ハレルノデ、恐ラク將來各々獨立シタ屬トシテ取扱ハレルヨウニナルノデハナイカト思フ。ソレデハ真正ノ *Melastoma* 屬ハ如何ナル物カト言フニ、此屬ハ JOHANNES BUSMAN ニヨリ設立サレ LINNÉ ニ採用サレタ物デ、

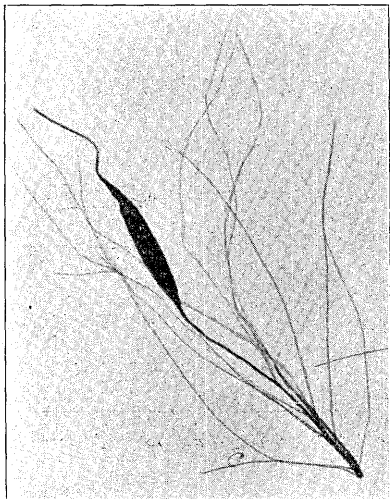
私ノ考ヘデハ此屬ノ基準種ハ *Melastoma malabathrica* LINNÉ ダト思フノデアルガ、此種ノ果實ガ如何ニ裂開スルカ見タコトガナイガ、恐ラク此ハ漿果デアラウト想像スル。デハナゼソノ様ナ想像ヲスルカト言フニ、今ソノ屬名 *Melastoma* ノ意味ヲ吟味シテミルト、希臘語ノ μέγας 即チ黒及 σομα 即チ口ノ二語ヲ結合シタ語デアル。ソレデハドウシテ此様ナ黒イ口

ト言フヨウナ名稱ガ與ヘラレタカト言フニ、ソレハ前記ノ *M. malabathrica* ノ果實ヲ食スルトソノ果汁ノタメニ口ガ黒クナルノデ此様ナ名稱ガ出タノデアル。ソコデ *Melastoma malabathrica* LINNÉ ハ漿果ヲ持つ物ダト結論スル事が出來ル。從ツテ *Melastoma* 屬ハ漿果ヲ持つ屬ト考ヘル事が出來ル。此ノ結論ヨリ推論スルト、のぼたんハ *Melastoma* = 屬スル物デハナイノデハナイカト想像スル事が出來ル。

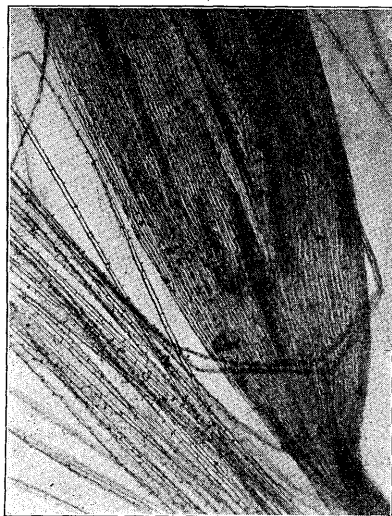
(正宗 嚴 敬)

○ほくちノ材料

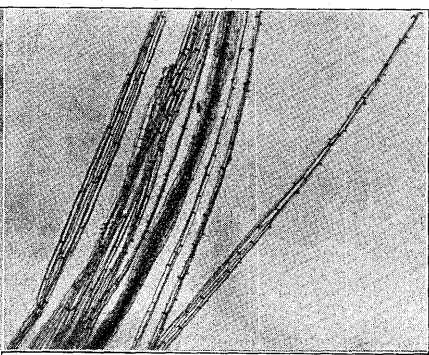
年末ニ東京湯島天神境内ノ露店デ燧石ヲ一式購入シタ序ニ引火用ノ綿狀物、即チほくち(引火奴)ノ材料ヲ檢シテ見タ。言海ニハ茅花、斑枝花、いちぶノ莖ヲ炭末トナシタルモノナドガ擧ゲテアル。知人ノ秋田縣人某氏ハ、彼氏ノ郷土ニ於テハ多孔菌科ノきのこノ炭末ノミヲ用フト言ハレタ。本草綱目啓蒙卷之九白茅ノ條下ニハ「…白キ絮アリ此絮ヲ取ツテ焔燭ヲ加ヘ煮テ赤ク染テホクチトス又燒酒ニテ煮製スルモアリ」トアル。依テ余ハ自分ノ手ニ入ツタ材料ヲ一見シタルトコロ黑色綿狀塊ノ物質デ、蒼褐色ノ小體ガ混在スル様ニ見エタガ更ニ之ヲ檢鏡シタル所、該綿様物ハ第1圖ノ如キモノ(第2圖ハ其



第1圖 ほくち顯微鏡で見テ其正體ヲ表ス



第2圖 第1圖ノ部分ノ擴大、右側ノ大キナモノハ果實ノ側面ト冠毛



第3圖 がまノ花ノ一部 中央ノ太イモノハ果柄、他ノ細絲狀ノモノハ冠毛

一部擴大セルモノ) ノミノ團塊デアツタ。之ヲ藥學士野々村進氏ニ囑シテ、化學的ニ檢シテ貰ツタラ焔石ト炭素ノ存在ヲ認ムトノコトデアツタ。然シテ余ハ材料ヲ鏡下ニ於テがま